

AUTOWHEEL オートホイール ソリューション

AutoWheel は、従来のホットメルト・ホイール技術の強みを継承しつつ、ダウンタイムを完全に排除した唯一の交換ソリューションです。ドロップイン方式の採用により、作業の簡素化と生産稼働率の最大化を同時に実現。導入にあたっての特別なトレーニングは不要です。

接着ホイールの完全 リプレイスとアップグレードに

AutoWheel オートホイールはダウンタイムをなくし、コストを削減します：

- ・ 清掃は不要です。フォルダグルーラーは稼働させ続けてください
- ・ ラインスピードを最大限に高め、いかなる速度でも糸引きを発生させません
- ・ 手動による接着剤の補充も不要です。完全自動化されたシステムです
- ・ 接着剤ポットから接着剤を廃棄する必要もありません

直接的効果

生産性



接着ホイールの清掃は不可欠ですが、時間のかかる作業です。1シフトあたり平均20分を費やす場合、年間で10稼働日以上労働時間がこの作業に費やされていることになります。これは本来、生産に集中できるはずの時間とリソースです。

接着ホイールの清掃に、どれほどの時間を費やしていますか？

製品品質



高速稼働時、接着ホイールはスリング（飛散）やスプレー現象を引き起こすことがあり、タブ以外のエリアに接着剤が付着することで、カートン同士が貼り付く原因となります。

接着ホイールの飛散やスプレー現象によって、最高速度が制限されていますか？

オペレーション



接着ホイールシステムは、定期的なメンテナンスや手動での接着剤補充を必要とします。これは作業負担を増大させ、ヒューマンエラーやダウンタイム、さらには接着不良による生産損失のリスクを高めます。

接着剤ポットが空にならないと断言できますか？

環境コスト



接着ホイールの清掃プロセスでは、未使用の接着剤が廃棄されます。これは不必要かつ継続的なコストとなります。また、世界的に環境規制が厳格化する中、接着剤の廃棄には追加の処理費用が発生する可能性があります。

環境規制による影響を懸念されていますか？

定期的な清掃によるダウンタイムの解消

現在の生産状況

週あたりの生産日数		日/週
年あたりの生産週数		週/年
目標生産速度		カートン/時間
グルーホイールの清掃時間		時間/日
1カートンあたりの期待利益		/カートン

AUTOWHEEL 導入後の生産

追加生産カートン数		カートン/年
追加利益		/年



AutoWheel は清掃を必要としません。
繰り返されるダウンタイムをマシンの稼働時間に変えることで、ラインの生産量を毎日増やすことが可能です。

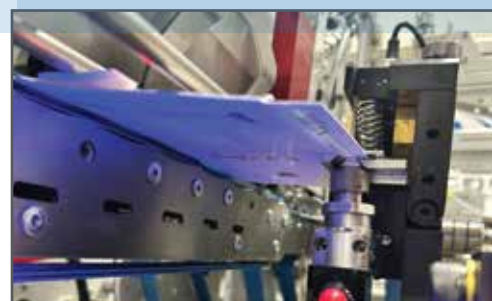
品質クレームと不良品の解消

現在の生産状況

ステッカーによる廃棄カートン数		カートン/月
糊付け不足による廃棄カートン数		カートン/月
廃棄カートン1個あたりの価値		/カートン
糊関連の顧客クレーム件数		件/月
顧客クレーム1件あたりの損失額		/クレーム

AUTOWHEEL 導入後の生産

糊不良の解消による総価値		/年
--------------	----------------------	----



AutoWheel は、いかなる運転速度でも糊の飛散やスプレー状の漏れが発生せず、カートン同士の貼り付きを防止します。

グルーボット清掃による糊の廃棄を解消

現在の生産状況

グルーホイールの清掃回数		回/日
1回あたりの糊廃棄量		重量単位 (kg, lb)
廃棄する糊の価値		/重量単位

AUTOWHEEL 導入後の生産

毎日の糊の廃棄解消による総価値		/年
-----------------	----------------------	----



AutoWheel はポンプによって自動供給され、操作性の高いスクリーンから制御可能です。

ROI 投資収益率 の算出

AutoWheel による追加利益

年間

AutoWheel の総導入コスト

通貨

AutoWheel の ROI

投資回収期間/月

